

経済社会の大きな変化の中で、生涯を見通した生活における経済管理や主体的な資金管理を導入した経済計画についての指導を工夫することは、現代の家庭科教育に一層求められてきている。

しかし、新学習指導要領に示されたその内容を限られた時間数の中でどこまで教えるのか、その方法を模索しているのが現状である。

本研究において活用させていただいた「生活設計・マネープランゲーム」は、単元の学習内容を振り返りながら将来の経済生活をシミュレーションすることができ、高校卒業後の生活に大変役立つ教材だと実感した。

特に今回は、教材をロイロノート・スクールに載せて個人単位で経済設計を行ったことで、課題を自分事として捉え意欲的に取り組む様子が伺えた。

ゲームの中でイベント&アクシデントカードを引いて盛り上がりったり、転職を検討した後の業績カードで「仕事が絶好調」を引いて喜んだり、また非消費支出の金額が所得や、働く人数や子どもの人数で随分異なることに驚いたり、住宅ローンの計算に頭を悩ませたりする中で、生徒達が自由に対話を楽しみながら、個々の人生を創造していく姿に、シミュレーションではあるが、それぞれの価値観に合った豊かな人生を応援したい気持ちになった。

昨年度の準備から2年間をかけて、このような教材活用研究の機会を与えていただいたことに大変感謝申し上げます。今後もさらに、生徒たちの成長と家庭科教育の発展に向けて精進する所存である。

【生徒の感想（抜粋）】

1時間目：生涯賃金の男女格差をなくし、女性が正規雇用として活躍できる社会にするためにはどうしたらよいか

- ・女性が働きやすい世の中になるためには、男女の賃金差をなくし、女性が働きやすい仕組みを企業が作る必要があると思う。
- ・女性が働きやすい世の中になるためには
政府（国）：女性が働きやすくなるための体系を整えること
自分：自分の中の男女差を無くし周囲を支えること

3時間目：多重債務を踏みとどまらせる言葉

- ・自分の思いこみだけで安全な仕事だと判断せず、親など信頼できる人に相談することが大事！
- ・ネットの情報を簡単に信じず、大金は借りず、確実に返せる分だけ借りる。

5時間目：未来人からの手紙

- ・貯蓄額 9,446 万円・思い出ポイント 41
良かったこと：人生にかかる費用などが分かったこと
やり直したいこと：若いうちにもう少し贅沢をすれば良かった
60 歳からの人生を豊かなものにするには：たくさん貯蓄をする
- ・貯蓄額：7,950 万円・思い出ポイント 22
良かったこと：お金については安定しており、借金もなかった
やり直したいこと：思い出が少ないこと
60 歳からの人生を豊かなものにするには：お金も大事だが思い出も大切
- ・貯蓄額：4,950 万円・思い出ポイント 39
良かったこと：子どもが多いと結構お金が必要だということが分かった
やり直したいこと：節約をして生活すること
60 歳からの人生を豊かなものにするには：お金をできるだけ貯めること